

2 教育条件整備に関する総合的研究（学校配置研究分野）  
研究代表者 葉養 正明（教育政策・評価研究部部長）

①研究の趣旨，ねらい

本研究は、少子高齢化の長期的全国的状況のなかで、学校の小規模化にどう対応したらよいかに関して、学校の配置政策構築という側面から迫ろうとしている。そのために、就学人口の動向に関して全国各地の状況の類型化を進め、それぞれの類型に対応した学校配置モデルの構築を進めることとしている。

②研究成果の概要

- 全国市区町村教育委員会対象に、小中学校統合政策に関する全数調査を実施した。
- 文部科学省委託研究新教育システム開発プログラム（採択番号：19、小中学校配置研究）で収集されたデータの再分析
- 全国の小中学校統合や学校再編成に取り組む自治体への実地踏査、資料収集、教育委員会関係者、校長等へのヒアリング
- 全国都道府県教育委員会対象調査を実施し、過年度の小中学校統廃合の実施状況、学校統廃合の組み合わせ、統合新校の名称等の一覧表を作成した。

③中期目標との関連性

- 目標1の「中・長期的な視点に立った戦略的な教育政策の企画・立案に資するための理論的・実証的な調査研究の推進」に関連して、少子高齢化の長期的進行を踏まえた義務教育諸学校の配置政策の研究である。
- また、目標2の「社会の要請に機動的に対応した教育政策の企画・立案に資するための調査研究の推進」にも対応して、全国の市区町村教育委員会の共通の課題になっている学校の小規模化に対処するための学校配置研究である。

④本研究に盛り込まれている主なデータ項目

- 長野県下伊那郡の町村を対象にした学校の小規模化に関する教育委員会、各学校への聞き取り調査のデータ
- 岩手県宮古市の小学校4校のネットワーク化事業「四つの葉学校事業」に関するデータ
- 静岡県浜松市の学校統合に関するデータ
- 阿智村村長、清内路村村長の講演記録

⑤今後の研究予定

- 長野県下伊那郡の小中学校統廃合や再編成に関する縦断調査実施
- 東京都内の小中学校統廃合実施地区の過年度の縦断調査
- 秋田県内市町村を対象にした小中学校統廃合に関する実態や学校施設調査

- 離島や過疎地、都内23区内の小中学校統廃合の実態調査
- 岩手県宮古市における町村合併と小規模校再編成に関する縦断調査

⑥キーワード

- (1) 小中学校統廃合 (2) 縦断調査 (3) 市町村合併
- (4) 地域類型 (5) 統合新校の設計

⑦本研究の研究報告書

- 「教育条件整備に関する総合的研究」(学校配置研究分野) 一年次報告書、平成21年3月

⑧関連する先行研究や参考となる研究等

- 「文部科学省委託研究新教育システム開発プログラム研究成果報告書」平成18年度：採択番号19，小中学校配置研究、東京学芸大学、平成19年3月
- 「文部科学省委託研究新教育システム開発プログラム研究成果報告書」平成18～19年度：採択番号19，小中学校配置研究、東京学芸大学、平成20年3月